

理科 年間指導計画 1年

学期	交互履修例							並行履修例						
	月	単元	章	時数	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	理Ⅰ	理Ⅱ	月				
前期 [55]	1学期 [36]	4月	継続観察 [1]	生物の観察を続けてみよう	1				単元4 [27]	単元1 [26]	4月			
		9月	理科室のきまり			—						9月		
		5月	単元1 生物の世界 [25~26]	1章 身近な生物の観察	4	いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類の仕方、生物の体の共通点と相違点を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現している。	いろいろな生物とその共通点に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			5月			
		9月		2章 植物のなかま	9						9月			
		6月		3章 動物のなかま	8						6月			
		12月		探究活動 まとめ/単元末・読解力問題/つながる	2						12月			
	7月	単元2 物質の すがた [24~25]	1章 いろいろな物質	5	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、物質のすがた、水溶液、状態変化を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身のまわりの物質について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現している。	身のまわりの物質に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	7月						
	6月		2章 気体の発生と性質	4				6月						
	9月		3章 物質の状態変化	6				単元2 [25]	9月					
	9月		4章 水溶液	5					10月					
	12月		探究活動 まとめ/単元末・読解力問題/つながる	2					12月					
	後期 [50]	2学期 [42]	10月	単元3 身近な 物理現象 [24~26]	1章 光の性質	9	身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、光と音、力の働きを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身近な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関係性を見いだして表現している。	身近な物理現象に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元2 [25]	9月	11月		
12月			2章 音の性質		4	11月								
9月			3章 力のはたらき		7	12月								
3学期 [27]		12月	単元4 大地の変化 [26~27]	1章 大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事象・現象と関連付けながら、身近な地形や地層、岩石の観察、地層の重なりと過去の様子、火山と地震、自然の恵みと火山災害・地震災害を理解しているとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けている。	2	大地の成り立ちと変化について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現している。	大地の成り立ちと変化に関する事象・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元3 [9]	単元3 [18]	12月				
		1月		2章 火山	6					1月				
		9月		3章 地震	6					9月				
合計	35週 [105]	[105]		[105]	テスト、実験操作	実験の考察、記述	提出物、授業の振り返り	[36]	[69]	35週 [105]				
											2月	4章 地層	5	2月
											3月	4章 大地の変動	4	3月
			探究活動 まとめ/単元末・読解力問題/つながる	2						3月				

[ ] は時数。配当時間や学習順序は一例です。

理科 年間指導計画 2年

学期	交互履修例							並履修例			
	月	単元	章	時数	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	1分野	2分野	月	
前期 [70]	1学期 [48]	4月 [12]	継続 [4]		1				単元1 [36]	継続～	4月 [12]
		5月 [12]	単元1 化学変化と原子・分子 [34~36]	1章 物質の成り立ち 2章 いろいろな化学変化 3章 化学変化と熱の出入り 4章 化学変化と物質の質量 探究活動	14 8 3 6 2	化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、物質の成り立ち、化学変化、化学変化と物質の質量を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現している。	化学変化と原子・分子に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		単元2 [36]	5月 [12]
		6月 [16]		まとめ/単元末・読解力問題/つながる	1						6月 [16]
		7月 [8]	単元2 生物の体のつくりと はたらき [36~38]	1章 生物をつくる細胞 2章 植物の体のつくりとはたらき 3章 動物の体のつくりとはたらき 探究活動	5 12 16 2	生物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、生物と細胞、植物の体のつくりと働き、動物の体のつくりと働きを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身近な植物や動物の体のつくりと働きについて問題を見だし、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現している。	生物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			7月 [8]
		9月 [12]		まとめ/単元末・読解力問題/つながる	1						9月 [12]
	2学期 [56]	10月 [16]								10月 [16]	
		11月 [16]	単元3 電流と その利用 [31~34]	1章 電流と回路 2章 電流と磁界 3章 電流の正体 探究活動	14 9 5 2 1	電流、磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連付けながら、電流、電流と磁界を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	電流、磁界に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流と電圧、電流の働き、静電気、電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現している。	電流とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元3 [34]	11月 [16]	
		12月 [12]								12月 [12]	
		3学期 [36]	1月 [12]	単元4 気象のしくみと 天気の変化 [29~31]	1章 気象観測 2章 気圧と風 3章 天気の変化 4章 日本の気象 探究活動	7 6 6 7 2 1	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象観測、天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	気象とその変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現している。	気象とその変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元4 [30]	1月 [12]
			2月 [16]								2月 [16]
	3月 [8]								3月 [8]		
合計	35週 [140]	[140]		[140]	テスト、実験操作	実験の考察、記述	提出物、授業の振り返り	[70]	[70]	35週 [140]	

[ ] は時数。配当時間や学習順序は一例です。

理科 年間指導計画 3年

学期	交互履修例							並行履修例			
	月	単元	章	時数	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	1分野	2分野	月	
前期 [70]	1学期 [48]	4月	継続観測 [1]	天体観測を続けてみよう	1				単元1 [32]	継続～ [1]	4月
		[12]		1章 力の合成と分解	4	物体の運動とエネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、力のつり合いと合成・分解、運動の規則性、力学的エネルギー、エネルギーを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	運動とエネルギーについて、見通しをもって観察、実験を行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合い、合成や分解、物体の運動、力学的エネルギー、エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。	運動とエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			[12]
		5月	単元1 運動とエネルギー [31~32]	2章 水中の物体に加わる力	3					単元2 [23]	5月
		[12]		3章 物体の運動	9						[12]
		6月		4章 仕事とエネルギー	12						6月
	[16]	探究活動	2					[16]			
		まとめ/単元末・読解力問題/つながる	1								
	2学期 [56]	7月	単元2 生命のつながり [22~23]	1章 生物の成長とふえ方	10	生命の連続性に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の成長とふえ方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	生命の連続性について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長とふえ方、遺伝現象、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。	生命の連続性に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元3 [11]	7月	
		[8]		2章 遺伝の規則性と遺伝子	5					[8]	
		9月		3章 生物の種類の多様性と進化	4					9月	
[12]		探究活動		2				[12]			
		まとめ/単元末・読解力問題/つながる		1							
後期 [70]	10月	単元3 自然界のつながり [11]	1章 生物どうしのつながり	5	日常生活や社会と関連付けながら、自然界のつり合いについて理解するとともに、微生物の働きなどを調べる観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身近な自然界のつながりなどを調べる観察、実験などを行い、自然界のつり合いについて、科学的に考察して判断している。	自然と人間に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元5 [26]	10月		
			[16]	2章 自然界を循環する物質	3					[16]	
				探究活動	2						
				まとめ/単元末・読解力問題/つながる	1						
	11月	単元4 化学変化とイオン [25~26]	1章 水溶液とイオン	8	化学変化をイオンのモデルと関連付けながら、水溶液とイオン、化学変化と電池を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連付けてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。	化学変化とイオンに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元4 [26]	11月		
			[16]	2章 化学変化と電池	7					[16]	
				3章 酸・アルカリとイオン	7						
				探究活動	2						
				まとめ/単元末・読解力問題/つながる	1						
12月	単元5 地球と宇宙 [25~26]	1章 天体の動き	7	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、天体の動きと地球の自転・公転、太陽系と恒星を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	地球と宇宙について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。	地球と宇宙に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元6 [21]	12月			
		[12]	2章 月と惑星の運動	8					[12]		
			3章 宇宙の中の地球	7					1月		
			探究活動	2					[12]		
			まとめ/単元末・読解力問題/つながる	1							
3学期 [36]	1月	単元6 地球の明るい未来のために [21]	1章 自然環境と人間	6	日常生活や社会と関連付けながら、生物と環境、エネルギーと物質、自然環境の保全と科学技術の利用を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断している。	自然と人間に関する事物・現象、科学技術と人間に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元6 [21]	1月		
	[12]		2章 科学技術と人間	10					[12]		
			終章 これからの私たちの暮らし	4					2月		
	[16]	まとめ/単元末・読解力問題/つながる	1					[16]			
	2月										
	3月										
	[8]							[8]			
合計	35週 [140]	[140]		[140]	テスト、実験操作	実験の考察、記述	提出物、授業の振り返り	[58]※	[61]※	35週 [140]	

[ ] は時数。※は単元6の時数を除いた時間。配当時間や学習順序は一例です。